

議長声明
(2022年11月4日 於：ミュンスター)

カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国のG7外相及びEU上級代表は、本日、ケニア及びガーナのカウンターパート、並びにアフリカ連合委員会の副委員長と会談した。外相等は、増大する食料及びエネルギーの不安、気候危機、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック及びその他の国際保健の脅威といったグローバルな課題並びに包摂的かつ持続可能な成長の促進、インフラ、及び民主主義の強靱性の強化の必要性について意見交換を行った。外相等はまた、アフリカの角、サヘル、大湖の状況など、アフリカ大陸の地域的な議題についても議論した。

ベアボック外相は、G7外相会合の議長として、2022年11月4日にミュンスターで採択されたG7外相声明を想起した。ベアボック外相は、グローバルな優先事項に関するアフリカのパートナーとの協力を強化するというG7メンバーのコミットメントを表明し、全ての加盟国の主権と領土一体性を含む国連憲章の原則を擁護するため共に取り組むことの重要性を強調した。ベアボック外相は、パリ協定、アフリカ連合（AU）アジェンダ2063、持続可能な開発のための2030アジェンダ（2030アジェンダ）及び持続可能な開発目標（SDGs）の目標の実現に向けた新たなコミットメントを求めた。

アフリカ大陸の地域的な議題に関する議論において、参加者は、アフリカの角における平和、安全及び人道支援に向けた課題並びに食料不安及び気候変動の影響について意見交換を行った。エチオピア北部について、G7議長は、AU、ケニア及び南アフリカの支援の下でエチオピア政府とティグライ人民解放戦線が敵対行為の停止に関する合意を結んだことを歓迎した。和平合意の履行とエチオピアの紛争からの回復のための協調した国際的支援が今、極めて重要である。彼女は、エチオピア北部のこれまで支援にアクセスできなかった地域の人々に対して人道支援を届ける緊急の必要性を強調した。参加者はさらに、ソマリアについて意見交換を行った。ベアボック外相は、ソマリアが自国の安全保障の強化を国際社会が支援する必要性を再確認した。この観点から、ベアボック外相は、AUソマリア暫定ミッションの重要性を強調した。スーダンについて、外相等は、平和と民主主義への移行プロセスについて議論し、政治から撤退するとの軍の約束並びに国連、AU及び政府間開発機構（IGAD）の取組に関する見方について意見交換を行った。参加者はさらに、サヘルにおける政治、安全保障及び人道状況の悪化について議論した。G7議長は、マリ、ブルキナファソ、ギニア及びチャドにおいて、長期的な安定及び安全に向けて死活的に重要な憲法秩序へ

の恒久的な復帰を確保するため、自由で公正な選挙を適時に準備するよう求めた。これに関連して、ベアブック外相は、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）及びAUに対するG7メンバーの支援を再確認した。ベアブック外相はまた、マリや大陸の他の場所においてロシア及びロシアに関連する治安部隊のプレゼンスが高まっていることに対するG7の懸念を強調し、人権侵害や虐待に責任がある全ての者に対して説明責任を果たすよう求めた。参加者はさらに、コンゴ民主共和国東部において現在進行中かつ激化している暴力及び紛争、並びにより広範な大湖地域における緊張について議論した。ベアブック外相は、地域の全ての非国家武装集団に対し、その活動を停止し平和的手段により目標を追求するよう呼びかけた。ベアブック外相は、全ての関係者が、地域の国家の領土一体性を尊重することを含め、誠実に、かつ、国際法に従って行動するよう強く求めた。

現在のグローバルな課題に関して、G7議長は、ウクライナに対するロシアの侵略戦争へのG7の非難を改めて表明した。ベアブック外相は、2014年3月27日、2022年3月2日及び2022年10月12日の国連総会（UNGA）決議を想起した。外相、上級代表及び副委員長は、世界の食料安全保障、栄養並びに世界中で食料供給の不安定化の影響を受ける人々の数が増加していることについて議論した。ベアブック外相は、世界の穀物価格を安定させる鍵である国連の黒海穀物イニシアチブ（BSGI）の継続的な実施の重要性を強調した。アフリカについて、ベアブック外相は、「栄養及び食料安全保障のアフリカ連合年」及び「包括的アフリカ農業開発プログラム」を特に支持する必要性を強調した。ベアブック外相は、最も脆弱な人々を飢餓及び栄養不良から守るための、G7メンバーを含む国際社会による人道的な食料及び栄養支援を想起し、このような取組を継続する重要性を強調した。ベアブック外相はさらに、ウクライナに対するロシアの侵略戦争に対するG7の制裁は、ロシアの食品、農産物、肥料の第三国への輸出を対象としていないことを改めて強調した。

外相、上級代表及び副議長はさらに、ウクライナに対するロシアの侵略戦争により悪化した世界のエネルギー供給の混乱、特に脆弱なグループによるエネルギーへのアクセスについて議論した。ベアブック外相は、エネルギー市場の効率性、安定性及び透明性の強化を通じてエネルギー安全保障を確保ため、及びアフリカ諸国のニーズを考慮しつつ世界的なエネルギー移行を促進するため、共に取り組むというG7のコミットメントを強調した。参加者はまた、特にアフリカにおける最も脆弱な国家にとっての現在の経済的及び財政的な課題について議論した。G7議長は、全ての債権者及び債務者に対し、二国間及び多国間フォーラ

ムにおいて、パートナーと共に解決に向けて共同で取り組むよう呼びかけ、これに関連して、「債務支払猶予イニシアティブ（DSSI）後の債務措置に係る共通枠組」の実施を加速することの重要性を想起した。

外相、上級代表及び副委員長は、人類の存続そのものを脅かす、加速している気候危機について議論した。ベアボック外相は、国際的な連帯へのG7の信念及びこの存続に関わる人類が引き起こした脅威を緩和し、克服する必要性を再確認した。ベアボック外相は、「G7グローバル・インフラ投資パートナーシップ」及びその他の旗艦プロジェクトを通じたものを含め、特に「質の高いインフラ投資に関するG20原則」に基づきアフリカにおいて質の高いインフラに投資するとのG7メンバーのコミットメントを想起した。現在進行中の新型コロナウイルス（COVID-19）パンデミックに関する議論の文脈で、G7議長は、「新型コロナウイルス感染症に関するG7外相行動計画」の実施における進展を歓迎し、ワクチンへの公平なアクセスを可能にし、ワクチン接種率を高めるために、現地のワクチン接種キャンペーン（「ラスト・マイル」）を支援するとのG7のコミットメントを改めて表明した。ベアボック外相はまた、持続可能な市場に支えられたワクチン及びその他の非常に重要な医薬品の地域の製造能力を強化するというG7のコミットメントを再確認し、その他の関係するステークホルダーとの連携を更に発展させる「市場形成戦略」に関するGaviワクチンアライアンスの提案を歓迎した。

参加者はまた、民主主義の強靱性と偽情報の議題にも触れた。ここでは、G7議長は、偽情報キャンペーン及びヘイトスピーチに煽られた脅迫を含む、組織的な情報操作及び干渉がG7及びアフリカの民主主義により一層の影響を及ぼしていることに懸念をもって留意した。

最後に、ベアボック外相は、平和及び安全、国家の主権及び領土一体性、紛争の平和的解決、不可侵、人権の尊重、法の支配、人間の安全保障、開発並びにジェンダー平等の基礎を定める国際連合憲章の堅持にコミットしている全ての国家と結束する必要性を強調した。